

背^キて邪法、邪師を崇重すれば、國土に惡鬼亂入^レて三災七難盛に起れり。かゝる時刻に日蓮蒙^{リテ}佛敎^ヲ此土に生^ラれるこそ時の不祥なれ。①法王の宣旨背^キがたければ、任^{セテ}經文權實二敎のいくさを起し、忍辱の鎧を著^キて妙敎の劍を提げ、一部八卷の肝心妙法五字の旗を指^{サシ}上^リて、未顯眞實の弓をはり正直捨權の箭をはげて、大白牛車に打乘^リて權門をかつぱと破り、かしこへおしかけ、こゝへおしよせ、念佛・眞言・禪・律等の八宗十宗の敵人をせむるに、或はにげ、或はひきしりぞぎ、或は生^イ取^レれし者は我弟子となる。或はせめ返し、せめをとしすれども、かたきは多勢也、法王の一人は無勢也。②至今軍やむ事なし。法華折伏破權門理の金言なれば、終に權敎權門の輩^ヲを一人もなくせめをとして法王の家人となし、天下萬民諸乘一佛乘と成て妙法獨り繁昌せん時、萬民一同に南無妙法蓮華經と唱奉^ヘらば、吹風枝をならさず、雨壤^{ツチ}を不^カ碎。代は義農の世となりて、今生には不祥の災難を拂ひ長生の術を得、人法共に不老不死之理^{ことわり}顯れん時を各各御覽ぜよ。現世安穩の證文不可^ル有^ル疑者也。問云、如說修行の行者と申さんは何^い様^かに信ずるを申候^シべきや。答云、當世日本國中の諸人一同に如說修行の人と申候^シは、諸乘一佛乘と開會しぬれば、何れの法も皆法華經にして勝劣淺深ある事なし。念佛を

①れ十(とも)②〔て〕一③取十(にせら)④至今=今まで⑤〔可〕一⑥と=を